■日時 平成30年8月16日(木) ■天候 晴れ 佐賀県立佐賀北高等学校 通信制 対 兵庫県立飾磨工業高等学校

■球場 江戸川区球場 第2試合 2回戦 ■試合時間 2時間37分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:菊池 塁審:森井 渡辺 大和

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7					計	安	失
飾磨工業	兵庫	1	2	1	0	4	0	1					9	8	0
佐賀北・通	西九州・佐賀	1	0	1	0	0	0	0					2	2	3

	- 4114
Elm	
2411	

	即 店																									
		ポ	ジショ	ョン			氏	名		打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7						
1	捕					塩	田		涼	3	2	2	0	中安	死球		死球	左2		三振						
2	投	中				福	田	悠	平	4	0	0	2	右飛	投ゴ		四球	ΞŢ		三振						
3	中	投				山	田		瑠	4	0	2	1	右3	ーゴ		四球	中飛		左2						
4	Ξ					多日	日羅	大	輔	4	1	1	0	三振		中安	右飛		四球	左飛						
5	=					小	路	和	輝	3	0	0	0	一邪		遊飛	三邪		四球							
6	遊					安	井	杏	耶	1	2	0	0		四球	遊飛		四球	三犠							
7	_					福	田	幸	基	2	2	0	0		四球	四球		二失	右飛							
8	右					古	野	童	夢	3	0	0	0		投犠	二飛		三振	三ゴ							
8			右			伊	賀	神-	-郎	0	0	0	0													
9	左					日	本	倫	小	4	2	3	4		中安		三振	中安		一安						
							合	計		28	9	8	7	人残	塁:10	併	殺:1									

備考

■バッテリー

投手												
福	田	悠	平									
日	田		瑠									

	捕手	£	
塩	田	涼	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
福田悠平	5	24	2	6	7	2
山 田 瑠	2	10	0	3	5	0

佐賀北•通

		ポ	ジショ	シ			氏:	名		打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7				
1	投	Ξ	遊			袁	田	;	輝	2	0	0	0	四球	三振		三振		四球					
2	遊		投			江	頭	憂	哉	3	1	0	0	遊ゴ	三振			右飛						
3	_					江	越	泰	心	3	1	1	0	四球		右3		三振						
4	捕					森		裕	輔	0	0	0	0	四球		四球		四球		死球				
5	中					佐	藤	真	悟	3	0	0	0	三飛		三邪		四球		三振				
6	右	投	右			後	藤	永	次	4	0	1	1	中安		三ゴ		左飛		三ゴ				
7	左					平	松	直	樹	2	0	0	0	投ゴ		遊飛			四球					
7				打		城	野	隆	弘	1	0	0	0							三振				
8	Ξ					梅	野	賢	가	2	0	0	0		四球		三振		投併					
9	=	右	=			能	隅	祐	樹	2	0	0	0		三振		中飛		死球					
							合	<u> </u>	Ť	22	2	2	1	残	塁:11	併	殺:0							
									借	老														

■バッテリー

	投手												
3			輝										
後	藤	永	次										
江	頭	憂	哉										

į	甫手		
森	裕	輔	
			\neg

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
園 田 輝	3 1/3	21	4	2	7	3
後藤永次	1 1/3	8	2	1	1	1
江 頭 憂 哉	2 1/3	11	2	2	2	1

■戦評

2回戦江戸川球場の第2試合は1回戦を三投手による巧みな継投で逃げ切り勝利した佐賀県立佐賀北高校・通信制と2年連続2回目出場の兵庫県代表・県立飾磨工業高校の対戦となった。初回先攻の飾磨工業は先頭の塩田が安打で出塁するとすかさず二盗を決め、さらに三盗を狙い相手の守備が乱れる間に本塁を陥れ先制する。その裏佐賀北は満塁の好機に6番後藤が適時安打を放ちすぐさま同点に追いつく。2回飾磨工業は無死一二塁から8番古野が手堅く犠打を決め好機を広げ9番山本が適時安打を放ち2点を勝ち越す。3回表飾磨工業は相手のミスを逃さず1点を追加するがその裏佐賀北も3番江越が三塁打を放ち相手の守備が乱れる間に生還し1点を返す。飾磨工業は5回9番山本の2点適時安打で追加点を奪うと、なお一死二三塁から内野ゴロの間に二者が生還する好走塁を見せこの回計4点を加え7回にも1点を追加し試合を決めた。飾磨工業は4回以降佐賀北の攻撃を無安打無得点に抑え7回コールド9ー2で勝利し、ベスト8に進出した。一方敗れた佐賀北は6回の攻撃で4つの四死球を選びながら無得点に終わり点差を縮められなかったことが何とも悔やまれる結果となった。